

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015年8月1日		
所属学部	園芸学部		
所属学科・専攻	緑地環境学科	学年	三年

1. 留学先について

留学先大学名	Akdeniz University		
留学先所属学部等	Agriculture		
留学期間	出発日 2014年9月1日	入学日 2014年9月6日	修了日 2015年7月8日 帰国日 2015年8月4日
住居	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート等 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
	通学時間	45分	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の紹介・あっせん
	通学方法	バス	
	部屋のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> ()人部屋 <input type="checkbox"/> 共同スペース有 () <input type="checkbox"/> 無	
食事	自炊 60 %	学食 15 %	外食 25 % その他 () *%で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	OSSMAセット型海外留学保険	
	大学指定の保険(名称)	<input type="checkbox"/> 強制加入	
	その他		
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)		
	成田	⇄	イスタンブール ⇄ アンタルヤ

2. 留学にかかった費用について

総費用	800,000	円	* おおよそでかまいません。			
出処						
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円	<input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input type="checkbox"/> 両親	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円	<input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO	800000	円	<input type="checkbox"/> その他名称()	円	
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/> その他()	円		

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	50,000	円	<input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード	円	<input type="checkbox"/> その他()
留学中	<input checked="" type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	<input type="checkbox"/> その他()			

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)金額、クレジットカードで。

大学に払った費用	0
住居にかかった費用	6500円 × 11か月 = 71,500
その他	

2-3. 内訳 * 外貨と日本円に換算した金額を両方記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	TL(トルコリラ)	4600TL	230,000	円
海外旅行保険	TL(トルコリラ)	2,830TL	141,420	円
OSSMA	TL(トルコリラ)	390TL	19,440	円
査証・在留許可証	TL(トルコリラ)	400TL	20,000	円
住居	TL(トルコリラ)	150TL × 11か月 = 1,650	71,500	円
食費	TL(トルコリラ)	200TL × 11か月 = 2200	110,000	円
通学に要する交通費	TL(トルコリラ)	2TL(往復) × 20回(一か月分、月～金) × 11か月 = 440TL	22,000	円
教科書、教材費		0	0	円
その他大学に支払った経費				円
光熱費	TL(トルコリラ)	0(住居込)	0	円
その他 (交際費)	TL(トルコリラ)	2000TL	100000	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面 *必ず留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位認定の有無			
1 Computer Aided Design I	正規	5	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
2 Remote Sensing and GIS in Landscape Planning	正規	4	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
3 Planting Design II	正規	4	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
4 Teaching Turkish language and Literature for foreigners	正規	5	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
5 Indoor Plants	正規	4	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
6 Landscape Planning II	正規	6	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
7 Computer Aided Design II	正規	4	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
8 Landscape Engineering	正規	4	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
9 History of Landscape Art	正規	2	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
10 Advertising Design	正規	3	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
11			<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
12			<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
13			<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
14			<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
15			<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
16			<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
17			<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
18			<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
19			<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
20			<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

授業が始まる前にシラバスが学生に渡されます。そこから自分が取りたい授業を取ります。私の専門の先生方は英語が話せるので、原則英語の授業から取るようになります。しかし、トルコ語が話せる学生はトルコの学生と同じ授業を取ることも可能です。留学生用の授業とトルコ学生の授業と分かれています。2stセメスターでトルコ学生の授業(トルコ語)を取ろうと試みましたが、私にはそこまでの実力がなく、断念しました。私は留学生用の授業(英語)しか取っていません。取る授業を決めたら、担当の先生(メブラーナプログラム)に授業リスト(アクデニス大学のオフィスから渡されます。)を渡し、パソコンにデータを打ち込んで登録終了です。大学側からアクデニス大学のIDを渡され、大学のホームページからアクセスします。(千葉大と基本同じ方法です。)

3-2. 授業内容、方法に関して

授業方法は基本、先生によって変わります。その先生の授業方針を事前に聞いた方が良いでしょう。基本、日本での授業と変わりませんが、大きく違うところは三つあります。一つ目はディスカッションです。色々な国から集まるので先生は学生たちに自国ではどう取り組んでいるのかと良く問います。したがって、自分の専門分野に関する日本の特色を勉強しておいた方が良いでしょう。それに加え、それを伝える語学力ももちろん必要になってくると思います。二つ目は授業の長さです。私が取った授業の中には、理論と実践の二つのパートに分かれている授業がありました。一つのパートが二時間半程度で曜日を分けてそれぞれ行うこともあります。そのため、単位数も比例して多くなります。三つ目は課題の量です。一回に出される課題の量が非常に多かったです。週末を課題に費やす日も結構ありました。したがって、授業を取る前に課題はどの程度出るのか先生方に聞いた方が良いでしょう。

3-3. 語学力について

私のトルコでの生活は大学は英語、私生活はトルコ語という感じでした。私の留学する前の語学レベルは英語は日常会話程度、トルコ語は全く話せない状態でした。最初、授業でもコミュニケーションの部分でも本当に苦労しました。私しか、学部日本人がいなかったので、日本語に頼ることはまず不可能です。逆にその厳しい環境が私を鍛えてくれたと思います。トルコは英語圏内でないため、英語を学ぶのは困難と思っている人もいますが、それは全くの誤解です。留学生同士では基本英語で話しますが、全体的にとってもレベルが高いです。私のクラスメートは、ビジネスで問題ないレベル、映画を字幕なしで分かるレベルです。必ず、その中にいけば英語力は向上します。また、トルコ語に関しては、トルコは英語を話せる人の割合が日本と同じぐらいです。そのため、トルコ語の習得が必須になると思います。私は本当にトルコ語の勉強をしてこなかったのが本当に大変でした。しかし、ルームメイトがちょうど英語を勉強していたので、英語を使うことができたのは幸いでした。ただ、店で何か頼むのにも必ず、トルコ語が必要です。しかし、トルコ人はとても親切なので良く話を聞いてくれます。学習するにはもってこいの環境でもありました。

3-4. 図書館など学内施設について

アクデニス大学は一言で表すと広いです。大学内ではあまりの広さからバスが必要です。そのためか施設はとても整っています。体育館は勿論のこと、ジム、アリーナ、サッカースタジアムまであります。また、ショッピングエリアも大学内に二つあり、大学内にいて、ほとんど困ることはありません。学部も相当数あり、気に言った授業があれば、他の学部にも所属していても取ることができます。私もグラフィックデザインの授業を取っていました。自習スペースも原則、学部の一つ設けてあり、図書館に行かなくても勉強をすることができます。私は良く、ショッピングエリアに付属されているカフェテリアを利用していました。ここまでの設備が一つのキャンパスにある大学は日本にはないと思います。加えて私がおすすめなのは食堂です。食堂といっても相当大きなものですが、留学生は無料で食べることができます。毎日、メニューが変わり、トルコ料理を食べることができます。毎回、違う店に行くとトルコ料理を楽しむよりも食堂に行くと食べた方が美味しく楽しいと思います。また、大学内に寮もあり、今は留学生は住むことは出来ませんが、留学した最初の一か月は住むことができました。トルコ人の友達ができるととても良いと思います。

3-5. その他

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。書ききれない場合には別紙等に続けてください。

4-1. 住居について

上記に記述した通り、最初の一か月は大学内の寮に住んでいました。値段も一か月5,000円程度でとても良かったのですが、トルコ人で募集人員が多かったことから留学生は住めなくなりました。寮は半年前に改装され綺麗になったから良かったものも、私が住んでいた時は衛生的に良くなったかったので結果的には場所を変えて良かったと思います。そして、私が今日まで住んでいるのはLaraという町で、一言で言うと高級住宅街です。海がとても近く、外国人とりわけロシア人が別荘として住んでいるところ。留学生のオフィス職員がルームメイトと知り合いで紹介してくれました。そのため、ルームメイトは学生ではなく、ウェブデザイナーとして働いています。今はルームメイトとそのお母さん、お母さんの友達の四人で住んでいます。約10か月住んでいましたが、全く問題もなく幸せに生活させてもらいました。家賃も英語を話す環境がほしいという理由から破格の値段で生活させてもらっています。前に住んでいたルームメイトの一人もウェブデザイナーとして、働いていますが、今年の九月からカンボジアで働くことになりました。また会える日を楽しみにしています。私から一つトルコで家選びの基準として、ルームメイトは学生でない方が良く、もしくは年齢が高い人と生活した方が生活は安定すると思います。私たちぐらいの年齢のトルコ人は結構遊びたがる人が多く、夜な夜な友達を大勢呼んだり、クラブへ行ったりと遊ぶ人が多いです。たまには一緒にいて楽しいと思いますが、これが長期まで続くと考えると勉強する時間がなくなったり、妨げになったりします。そういった意味でも精神的に安定した社会人の人と生活するのが日本人としては適していると思われ。もし、ルームメイトを合わないようでしたら、すぐ場所を変えた方が良く、意外に新しい物件はすぐ見つかります。結果としてつくづく私はラッキーだったと振り返って思いました。

4-2. 食生活について

私はトルコ料理が好きだったので、この一年困ることはありませんでした。時々、日本食が恋しくなったことがありましたが、千葉大の先生が巡見でいらしたときに日本食を持ってきてくれたので、自分で作って食べていました。最初の頃は外食をすることが多かったのですが、それだと栄養が偏ってしまい、健康に良くないと分かったので、自分で意識して野菜や大豆、果物を意識して摂っていました。トルコではパザールといって毎週決まった曜日に各地で市場が開かれます。値段もとても安くそれ以上に新鮮です。最初はルームメイトといていましたが、半年後には全て私が買い出しを引き受けてました。トルコ人は雑なところがあり、鮮度の良いものを取らなかつたり、値段を気にせず買ってしまふので、そういう気づかいに細かい私が途中から買い出しをしていました。そのおかげもあって食べ物について知ることが出来き、留学前は全くできなかった料理ができるようになりました。もしかしたら一番の成長かもしれません。とにかく日本にいたときよりも食にはこだわるようになりました。つい授業があると疲れて作るのが面倒になり、外食することが多くなりますが、節約の意味でも自炊することはとても大切だと思います。

トルコ料理は日本人にとって口に合うものだと思います。主食はパンですが、米も食べます。レパートリーも非常に多く、飽きることもないと思います。また、同じ料理でも地域によって全く味が違く、一つの料理で色々な味を楽しむことができます。値段もランチで400から500円程度などでお手頃です。食に関してはとても恵まれている国だと思います。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

大学ではEduromという大学専用のWifiに加入(学生証が手に入り次第使えます)すれば、大学内ではインターネットを使うことができます。後はWifiが通っているお店を使うかです。携帯電話に関しては、私はトルコ用の携帯を持っていました。一回、自分で購入しましたが、(3000円程度)すぐ壊してしまい、友達から古いモデルの携帯をもらってSIMカード入れて使っています。もしくはSIMフリーの携帯を日本で購入し、SIMカードだけ入れ替えるパターンです。留学生は後者の方が多いです。私はSIMカードの交換が出来なかつたため、前者の方法を取りましたが、大学と家を行き来するだけなら、SIMカードの交換する必要はないと思います。

4-4. 服装について

基本、年中暖かいので、冬用のダウンは用意する必要はありませんが、代わりに二月ごろは雨季なので、ブーツなどは必要だと思います。私個人としては、フォーマルな場で使える男性ならジャケット、女性ならワンピースなど持って行った方が良いと思います。理由としてはクラブなどに行くときに場所によっては服装のチェックがあったり、大学側が主催するパーティなどで必要になってくるからです。そして思った以上にこの機会は多かったです。大学のお偉いさんも結構お越しになるので、必ず着ていくべきです。見ている人は割と服装を見ています。

4-5. 健康管理について

この留学生活を通して、一度も風邪や怪我もすることなく、健康に生活することができました。そうできた理由としては、「海外に生活している」ということで、常に体に気をつけながら生活していたからだと思います。毎日、帰ったら手を洗う、食べ物の賞味期限を確認するなど、当たり前のことを日本ではつい慣れから怠ってしまうことがあります。しかし、海外では食中毒などになりやすいので、常に気をつけなければいけません。この警戒心が健康管理に繋がったと思ってます。また、海外で病院を使うのは、とても億劫になります。医療費や保険、手続きなど色々と異国の地で一人で頑張らなければなりません。そういったことを踏まえ、常に健康管理を怠らなかつたことが素晴らしい留学生活に繋がりました。また、勉学が忙しくなると、運動しなくなります。私は小学生の頃から運動していますが、運動の大切さを十分に知っていたので、日ごろ少しの時間でも身体を動かしていました。また、食べ物も高校時代に体に関するマネージメントを部活で学んでいたため、必ず栄養価の高いものを摂ることも常に心がけていました。そういった小さいころから培っていたものが留学で現れたと思っています。体のことだけでなく、「病は気から」というようにメンタルのケアもとても大切です。頑張りすぎず、疲れたら休んで次の日に備えていました。

4-6. 保険、OSSMAの利用 * 利用実績等をご記入ください

保険はOSSMAセット型保険を利用しました。期間は一年で保険料は上記の通り、141,420円です。一つ注意しなければならないのは留学期間で登録するのではなく海外の滞在期間で登録しなければなりません。私は6月に大学の授業が終わり、七月いっぱいヨーロッパを旅行しました。そのため、最初は保険の加入期間を6月までとしていましたが、実際には日本に帰国する8月4日まで加入しなければなりません。しかし、旅行するときわざわざ新しい保険に加入しなくて良いので手続きは楽です。OSSMAは月に一回、安否報告の連絡が来ます。それに毎月報告すれば基本問題はありません。

4-7. 課外活動について

トルコは世界遺産も多く、観光するにはとても適している国です。私個人としてはオススメは、Istanbul, Izmir, Pamukare, Olymposです。トルコのガイドブックを持っていれば、必ずと言っていいほどこれらの都市に関しては記入されています。休みがあれば皆、友達と旅行に出かけていました。そもそもアンタルヤ自体が観光地なのでアンタルヤ内で十分に楽しむことができます。暖かくなると泳ぎに海へ出かけていました。地中海に面しているため、海がとても綺麗です。私の人生の中で一番綺麗な海でした。また、私個人としては何か課題、宿題があると気分転換に海沿いのカフェでよく勉強していました。私は自分のお気に入りのカフェやバーを探すのが好きなので、良く一人で歩きながら、お洒落なところを探していました。トルコは日が落ちるのがとても遅いのでとても一日が長く感じます。また、トルコに来てからテレビはほとんど見ていないので、余計長く感じていました。アクティビティーとしてはダイビング、ラフティング(川下り)、スキーなど、自然を生かしたアクティビティーを多く経験することができました。こういうのは外国人だけだと高く値段設定されてしまうので、私としてはトルコ人と一緒に行くのがオススメです。日本の生活と比べるととにかく自然と触れる機会が多いです。日本ではあまり経験できないことをトルコで積極的にやるべきだと思います。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

少し学内に関係しますが、アクデニス大学には留学生用のネットワークがあります。そこに登録すると、毎週末何かしらイベントが記載されています。原則、留学課に属しているトルコ人が企画を考えてくれているので、値段も企画内容も申し分ありません。もちろん、留学生同士で企画して記載することも可能です。そういった企画に参加すれば比較的簡単に留学生同士で仲良くなることができます。

私は社会人のルームメイトと一緒に住んでいるので、その人つながりでネットワークができました。ルームメイトの職場に足を運んで実際の仕事(ウェブデザイン)を見たり、学生だけでなく大人の人とのコミュニティを作ることができました。後は、トルコ人は家族とのつながりが非常に強く、親戚も非常に多いのでそこから次々に友達が増えるというのは良くあります。また、全く見知らぬ人でもクラブや、レストランで席が近かったりするとそこから意気投合するというのはトルコでは良くあります。トルコ人は基本、社交性が日本よりあると思うので、すぐ友達が出来ると思います。トルコ語を少しでも知っているとより、簡単に友達になることが出来ると思います。したがって、私はトルコに住んで、一度も友達のコミュニティを作ることに悩みませんでした。とにかく自分には語学力が乏しいからと奥手になる必要はなく、積極的に下手でもコミュニケーションを取れば、どんどん友達ができ、そこから友達に語学を教えてもらえば良いと思います。

4-9. 日本から持参してよかったもの

・先ほども申し上げたとおり、フォーマルな場で使える服装(ジャケット、ワンピース)

・ティッシュ…トイレにトイレットペーパーがないことが多々あります。

SIMフリーの携帯…携帯を二つ持つ必要がないので楽です。

・バックパック…トルコは石畳舗装が多いのでスーツケースは持ち運びに不便です。また旅行する機会が結構多いので重宝します。

・日本文化を紹介するもの(着物、折り紙…)…日本の文化を紹介する機会が留学中に多くあります。そのため、こういったものを持っておくと紹介がスムーズに行きます。

・日本食…とりわけスープは作りやすく、かさ張らないので良いと思います。

・調味料…味噌、醤油など

・地球の歩き方…やはり旅では最強の味方です。あと、もし他の国へ旅行する計画があるのであれば、他の国のものも持っておくと良いです。私も七月にヨーロッパを旅行しましたが、持って来れば良かったと後悔しました。ネットよりも情報が多く、信ぴょう性が高いです。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

・数多くの薬…年中、健康だったから。またトルコで簡単に購入できたから。

・サッカーシューズ…ほとんど活動がなかったから。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

対人関係としては、日本人だというと大体トルコ人は親切にしてくれます。これは日本人にとってある意味特権だと思います。どんどんアピールして言った方が良いと思います。また良い意味でも悪い意味でもすごい世話をしてくれます。時にはそれが度を過ぎて面倒くさく感じてしまうかもしれませんが、とにかく世話を焼くのが好きな人たちです。イスラムの国なので、イスラムに関してあまり悪く言うのも良くないです。現在は昔よりも随分、宗教のつながりは弱くなりましたが、80%を超える人がイスラム教徒です。たとえ、過激派やテロリズムに対し、不快感があってもあまり公共の場で言うものではありません。とりわけ、お年寄りの方たちの方が強く信仰している人が多いので気をつけましょう。

マナーの一つとして、バスに乗ったときは基本、お年寄りにバスを譲らなければなりません。日本よりももっと徹底している感じが見てとれます。そういった親切心は日本も見習うべきです。しかし、トルコ人はあまり約束を守りません。何度、約束を忘れられたか分かりません。悪気はなく、そういう文化だと思って接することが大切だと思います。また時間もあまり守らないので、バスなので遅延することも良くあります。大事なことがある日は早めに家を出ることも大切だと思います。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

2015/1/17~22, Bulgaria Sofia	Total 50,000yen
2015/6/10~12, Turkey Istanbul	Total 4,000yen
2015/6/12~15, Turkey Bursa	Total 6,000yen
2015/6/15~18, Turkey Izmir	Total 5,000yen
2015/6/19~20, Turkey Denizli	Total 5,000yen
2015/7/6~10, Malta	Total 20,000yen
2015/7/10~12, Italy Catania	Total 6,000yen
2015/7/12~14, Italy Rome	Total 7,000yen
2015/7/14~16, Italy Florence	Total 30,000yen
2015/7/16~18, Italy Venice	Total 7,000yen
2015/7/18~21, Slovenia Ljubljana	Total 1,000yen
2015/7/21~24, Croatia Zagreb	Total 14,000yen
2015/7/24~27, Hungary Budapest	Total 18,000yen
2015/7/27~30, Romania Cluj	Total 8,000yen
2015/7/30~8/3, Turkey Istanbul	Total 20,000yen

その他

5. 報告

5-2. 留学先大学について

アクデニス大学はとて広くあらゆる設備が整っている大学でした。アクデニス大学に約一年通っていましたが、不便だと思えることはほとんどありませんでした。大学が広すぎて歩いていくには大変だったぐらいです。勉学に関しても、私が通っていた農学部はとて設備が整っていて、授業で使うための農地やグリーンハウス、プログラミングを使うためのコンピュータールームなど、特に問題はありませんでした。また、他の学部 비해、教授も海外でも活躍している素晴らしい方が多く、授業もとてもおもしろかったです。もちろん、課題が多く週末も勉強しなければいけませんでした。貴重な経験なので無駄にしないように努めました。また、千葉大と同様、協定校が非常に多く、色々な国から大学生が来ます。とりわけトルコに近い西アジア、東欧から数多くの留学生が来ていました。日本ではあまりなじみのない国(アジアだと、アゼルバイジャン、アフガニスタン、ヨーロッパなら、ブルガリア、ルーマニア、ポーランド)の学生と友達になれました。こうした出会いが東欧で一人旅しようと至ったきっかけでもあります。ヨーロッパの学生だけではなく、トルコに近い国やアフリカといった、情勢が不安定な国の学生をアクデニス大学は取り込んでいます。そういった学生はとて意識が高く、優秀です。私が寮に住んでいた時に、自習室で勉強をして、その後友達とクラブへ行く途中、私のアフガニスタンの友達が夜遅くまでテスト期間でない日でも勉強していたのを見て、私もクラブへ行かず、トルコ語の勉強をしたのを今でも覚えています。彼の将来の夢は外交官でした。私たち日本人には到底想像つかない生活をして、想像以上の努力をしている人が沢山いました。アクデニス大学では、日本には経験できないことが授業でも授業外でも学ぶことができます。とて私にとっては魅力的な大学でした。

5-3. 留学中の様子

大学がある期間では、基本平日は大学にいました。1stセメスターでは週に三日授業があり、ない日はルームメイトに紹介してもらった語学学校に行っていました。(トルコ語と英語)2stセメスターになると月曜から金曜まで毎日授業がありました。そのため、最初の頃は週末を宿題のために使うこともしばしばでした。しかし、勉強だけでは私は耐えられないので、授業の終わりに友達とカフェへ行ったり、飲みに行ったりしていました。週末には留学課が企画してくれた旅行(アンタルヤ内)に参加してリフレッシュしました。とにかく留学生たちはオンとオフの切り替えがとても上手です。飲み場では酔っ払っていても次の日には人前で堂々とプレゼンをします。最初、私はその切り替えについていけず、次の日まで影響を及ぼしたり、飲み会を断っていましたが、最後のセメスターでは留学生たちのようにオンとオフの切り替えが少しは出来たと思います。

冬休みと夏休みでは日頃、あまりできなかった旅行をたくさんしました。私は留学する前からずっと一人旅をしてみたいと思っていて、それがかなってとても嬉しかったです。冬休みは2週間程度しかなく、ほとんど旅行できませんでしたが、夏休みは約2か月あったので、国内、国外行きたいところに行くことができました。一番印象的だったのはイスタンブールです。イスタンブールには冬も夏も行ったのですが、季節が違ったという意味で印象が変わったのはもちろんのこと、トルコ語を使えるようになったことで、冬では知ることが出来なかったその人たちの文化や風習をより一層感じる事が出来ました。そして同時に自分の成長を強く感じる事が出来ました。自分の成長を感じるために一度、最初の頃に訪れておいて最後にもう一度戻ってきてその変化を感じるのも良いのかも知れません。

5-4. 留学希望者へのアドバイス

生活面では、とにかく一人で全て気負わないことが大切だと思います。海外になると色々問題が起こります。(コミュニケーション、宿泊先、授業、etc.....) そうした問題の中には自分ではどうしても解決できないことがあります。私も留学に来た当初、自分で全て解決しようとしていました。そうするとどうしても時間がかかり、精神的にも疲れてしまいます。もし、授業で分からないことがあれば、先生やできるクラスメイトに質問して、手を借りたり、家を探すのであれば、留学課や社交的な友達に頼るといったことが留学生活では非常に重要になってきます。私も含め、日本人は意外と人に頼ることが苦手です。そして、海外では自分から発言しないと向こうから手を差し伸べてくれることはありません。日本では空気を読んで、友達から手を差し伸べてくれたりしますが、海外の人たちはまず空気を読めません。よく言われることですが、自分から発言することが大切です。

トルコ留学に関してですが、トルコでは宗教の考え方が生活に直結してきます。時には、私たちには理解できないこともしばしばです。その時に自分の常識だけで考えないことが大切です。こういう考えもあると寛大にとらえることがとてもトルコの生活では重要です。自分の、日本の常識だけで動くと思わぬトラブルを引き起こすこともあります。

語学の面に関しては、留学する前は英語やドイツ語とメジャーな言語ばかりに注目していましたが、トルコに留学したことで、マイナーな言語に注目するようになり、ルーマニア人の友達の前ではルーマニア語を使ってみたりと語学の優劣を意識しなくなりました。私たちが使う日本語もマイナーな言語ですが、外国人の人が一生懸命日本語を話そうとしていたら、とてもうれしくなります。それは世界どこでも同じで、やはり自分の母国語を使ってくれる人には好感が持てるものです。トルコ人と話すときはなるべくトルコ語で、知ってる言語があればその友達の母国語を使ってみるなど、そういった気遣いが友達を作るうえで大きなアドバンテージになると思います。

5-5. 留学を終えて *派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がたった部分、不安に思うことなどなんでも。

この留学で成長したと思うことは私はどここの国に行ってもやっていけるという自信を得たことです。語学の面だけではなく、初対面の人とのコミュニケーションやその国の文化や風習に合わせる柔軟性が身についたと思います。大学の講義が終わった後、ヨーロッパを一人旅できたということも私にとっては大きな自信になっています。また、時間の使い方も留学前に比べ、上手になりました。最初の頃は優先順位がつけられず、とにかく来たものから手をつけていたため、結果的には上手いかず、テストでも良い点を取ることができませんでした。しかし、周りの人を参考にしながら、帰っていった結果、余裕が持てるようになり結果も良い方向へと変わっていきました。日本では頑張ることが美德である風潮がありますが、こちらでは良い結果が美德です。頑張っていた姿や過程が点数になることはありません。いかに効率よくスピードを求めながら、良いものを示すかがとても重要です。それを求めるにあたってタイムマネジメントはとても重要な要素です。その大切さに気づけ、また向上させることが出来たのはとても価値あることです。

私は現在大学三年生です。就職もそろそろ視野に入れたいといけません。ただその時に海外で働くという大きな選択肢を得られたのは非常に大きいと思います。具体的には将来を描けていませんが、海外で活躍したいという気持ちは留学前よりもより一層強くなりました。それを実現するために逆算して今、何をすべきなのか一つずつ前に進みたいと思います。また、海外にくると日本で何が出来るか何が必要か客観的に見る事が出来たので、日本でしか出来ないことに注目して取り組んでいきます。

不安に思うことは、語学力の向上です。やはり、海外に比べ、使う機会は減ります。英語はグローバル言語であるので使うことはまだあると思いますが、トルコ語に関しては日本語と同様、メジャーではないので少し不安は残ります。それでも現在はSkypeといったテレビ電話を使ったり、アプリケーションを使えば、海外の友達と無料で会話することが出来るので、帰国してからも関係は続けていきたいと思っています。

お疲れ様でした

国際教育センター海外留学支援室 2015.2作成版

